

「今様・草加宿」事業推進計画（素案）の意見公募に寄せられたご意見と市の考え方

・「今様・草加宿」事業推進計画（素案）に対し募集期間（平成18年2月24日～3月15日）中に寄せられたご意見について、次のとおり市の考え方を公表します。

NO.	ご意見の概要	市の考え方、対応
1	<p>六丁目の旧道の一方通行化は反対である。歩道をつくるために一方通行化することは不便となり、また交通渋滞を招く。未来の草加を考えると一丁目から六丁目まで拡幅すべきである。</p> <p>看板や建物に配慮した古風な落ち着いたまちなみにして欲しい。</p>	<p>今様・草加宿事業は、かつての草加宿のあった旧町地区から本市のシンボルゾーンとして市民の憩いの空間となっています草加松原に至る一帯地域を、現代的な視点でにぎわいと魅力のある草加市の都市再生軸として整備するため、市民と行政が協働して推進しております。</p> <p>にぎわいづくりには、旧町地区から札幌河岸公園、草加松原に至るルートで安全で快適な回遊動線の確保が必要と考えております。旧道の一方通行化につきましては、地元町会や商店会、各種団体、公募による委員で構成されます今様・草加宿実行委員会から提案された経緯にあり、また旧道全体の交通体系や安全な歩行空間を確保していく上では望ましいと考えております。</p> <p>今後、一方通行化を推進するにあたりしては、沿道にお住まいの方々や警察、道路管理者との合意を前提に整備手法も含めまして取り組んでまいります。</p> <p>また、まちなみにつきましても、同様に地域や商店会との合意形成を基本に、本市の歴史や地域特性を踏まえながら、住宅と商店が共存したまちなみの形成をめざしてまいります。</p>